

令和 5 年度 事業報告

令和 5 年度次の事業を行った。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50 名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	47 名
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム	50 名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120 名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40 名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12 名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45 名
5 事業所 本部(事務局)除く	18	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

1. 人材育成・確保
2. 将来に向けての事業展開とサービス提供
3. 施設・事業所の整備、管理計画
4. 経営基盤の構築
5. 地域貢献計画
6. 計画に対する評価等

基本方針

人材育成においてリーダー的職員は施設長と課題を共有のもと、本質を分析し「解決力」「行動力」「企画力」を高め、リーダーシップを発揮しながら引き続き次世代を担う職員の育成に取り組む。また人材確保においては一層の情報発信と情報収集に努めると共に、柔軟な雇用形態による確保を行いながら働きやすい職場環境づくりを推進する。

将来に向けての事業展開については、事業の特色、魅力あるプログラムを定着させ、安心安全な事故のない高品質なサービスを提供することで収入を確保し安定的経営を図る。

施設維持については管理を徹底し長寿命化を図り、福寿園の建替えについては計画的に進め、スムーズに移転する。

中・長期計画Ⅲ期最終年度として、計画全体の評価、課題等の整理を行い、見直しを図り、次期計画へ繋げていく。

令和5年度重点計画(方針)項目

I 人材育成、確保

1) 人材育成システムの構築

① 育成プログラムの充実

ア 育成プログラムの修正

イ 育成プログラムの実施

ウ 職場復帰等プログラムの実施

② リーダーシップ機能の充実

ア 経営的視点を持った職員の育成の継続

イ 次世代を担う職員の育成の実施

③ 目標管理・キャリアパスの充実

ア 人事管理システムの検討（勤務実績の反映、昇給等）

イ キャリアパスの進捗把握・修正

④ 評価制度の作成

ア 評価表に基づき実施、評価

イ 利用者アンケートの実施、評価

2) 職員研修体系の評価

① 職員基本研修体系の強化

ア 実践研究発表会の充実

② 専門性の充実

ア 専門的資格取得比率の向上

イ 資格取得に向けた支援の検証

ウ 積極的な地域への職員派遣

3) 帰属意識の推進

① 帰属意識の推進

ア 帰属意識の推進

② 働きがいのある職場環境の推進

ア 業務改善の取組みの推進

イ 職場環境整備の実施

ウ 健康づくりの実施

4) 人材確保の推進

① 実習生・ボランティアの積極的な受入れ

ア ボランティア・実習生の受入れ継続

イ ボランティアの育成(マニュアルに沿った指導)

② 広報活動の推進

ア 情報の発信の継続

③職員採用に向けた推進

ア 非正規職員の雇用の検討、実施

④障がい者雇用の促進

ア 法定雇用人数の雇用

イ 就労の為の環境の充実

⑤就業促進及び定着化

ア 職員の処遇改善に向けての周知・実施

Ⅱ 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の再検討

①介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正

2) 高品質なサービス提供の推進

①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの定着

ア 魅力あるプログラムの定着・PR

②PRの推進による高品質なサービスの確立

ア 効果的な情報発信の推進と高品質なサービスの確立

③地域包括ケアシステムに向けた事業の推進

ア 地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の推進

イ 介護予防サービスの見直しと評価、再検討

3) リスクマネジメントの強化

①事故防止対策委員会の機能強化

ア 事故のない事業所づくりの継続

イ 事故防止対策の啓発・評価

4) 新事業体系の確立

①養護老人ホーム福寿園の建替えに伴う新たな事業展開計画の実施

ア 具体的な施設整備計画の実施と修正

イ 在宅サービス事業展開計画の実施と修正

ウ 新たな事業運営に向けた職員配置計画に基づく整備実施と修正

Ⅲ 施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

①大規模修繕の計画的な実施

ア Ⅱ期の見直しとⅢ期の大規模修繕計画の作成と実施

イ 建物維持管理計画の推進

②小規模修繕の実施

ア Ⅲ期の小規模修繕の実施

2) 大型備品の整備

① 大型備品導入の検討、実施計画書の作成

ア II 期の見直しとⅢ期の大型備品購入計画の作成と実施

② 適正な備品管理

ア 備品管理計画に基づく効率的な運用推進

Ⅳ 経営基盤の構築

1) 目標の修正

① 計画の修正、改善

ア 大規模修繕・大型備品整備に係る試算

イ 介護報酬等の加算取得に向けた取組み

ウ 補助金の情報収集及び確保の研究

エ 物品等の管理計画修正及び実施

Ⅴ 地域貢献計画

1) 法人・事業所での計画実施

① 実行、評価、改善

ア 地域貢献活動計画の実施

Ⅵ 計画に対する評価等

1) 次期に向けての取組み

① 新たなる課題の明確化、次期計画への反映

ア 課題等の整理

イ 見直しに係る検討

2) 計画遂行状況確認

① 中間評価の実施

ア 進捗状況の評価

イ 見直しに係る検討

1. 本部(事務局)

人材育成・確保	リーダー的職員は課題の本質を見極め、スピーディーに解決・改善方法の検討と実践、評価を行う。またリーダー力を高めるため新しい発想や方法を絶えず模索し、提言しながら進めると共に目標達成に向かって中堅職員、新人職員を指導する。併せて働きやすい職場環境として更なる電子化を進め業務の省力化を図る。 <u>◎主任会議を目的・課題別に複数の少人数グループで行い、明確な役割を持って進め、スピーディーな対応へと繋げた。また主任を対象としたリーダー研修でリーダーの役割を学び、学んだことを活かし中堅職員研修を行うことで双方のレベルアップに繋げた。またタブレット購入の助成金を設け、業務で活用することで電子化を進め、業務の省略化については出勤簿を電子化しデータ管理できるようにすると共にペーパーレス化にも繋げた。</u>
事業展開、サービス提供	継続した新型コロナウイルス等感染症対策を図ると共に、事故のない安心安全な事業を展開するため事故防止対策委員会の機能を強化する。 <u>◎新型コロナウイルス等感染症について事業継続計画を国の指針に合わせて変更し、発生時は早急に対応し影響を最小限に留めた。また事故防止対策委員会の機能強化として各事業所委員を1名から2名とし、更にアドバイザーとして施設長1名を加え客観的な幅広い視点での意見を取り入れながら取り組んだが、事故の減少には至らなかった。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	「強み」を明確にし、かつ対象を意識した発信を行い収入確保に繋げる。 <u>◎「食」と「機能訓練」を強みと捉え、調理部会では物価高騰対策と併せ、食の満足度維持について協議し、質を高めた。また通所介護事業所においては機能訓練指導員部会を開催し、意見交換しながらより良い機能訓練の形を模索し進めると共に居宅部会、市立病院、包括支援センターを訪問しPRしながら計画的に取り組んだ。更に取組みを随時ホームページ等で発信すると共に事業所と意見交換し戦略を協議しながら収入確保に取り組んだ。</u> <u>また事業の特色、魅力あるプログラムについて実践研究発表会で各事業所の取組みを発表した。</u>
その他	中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って必要な備品整備を行うと共に福寿園の建替えについてはスムーズに移転できるよう計画的に進める。 <u>◎福寿園改築会議を毎月開催すると共に竣工式、見学会、引越しの役割を明確にして、順次確認をしながら実施し、備品においても施設開設準備経費等補助金を活用し整備した。</u> <u>その他補助金を活用し公用車3台、PC2台、照明取替及びインターネット環境の整備を実施した。</u>

令和6年3月31日現在

職員配置状況

事業所名	本部 (事務局)	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパース テーション	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
正規・再任	2	8	10	4	12	2	19	9	9	75
準職員	0	4	3	1	4	1	7	3	2	25
非常勤職員	0	8	5	0	6	7	10	10	10	56
合計	2	20	18	5	22	10	36	22	21	156

事故、ヒヤリハット、気づき件数

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護 支援事業所	福寿園	福寿園 ヘルパー ステーシ ョン	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
事故	0	5	0	1	1	4	4	5	20
ヒヤリハット	1	27	3	15	19	21	20	16	122
気づき	167	442	77	117	92	116	1,282	601	2,894
車両事故	0	1	0	0	0	1	3	1	6

事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだデイサービスセンター	5	① 左足捻挫、靱帯損傷 ② 表皮剥離 ③ 薬の飲ませ忘れ ④ 身体右側打撲 ⑤ 左側頭部打撲
福寿園	1	① 薬の貼り忘れ
福寿園ヘルパーステーション	1	① 薬の飲ませ忘れ
相愛保育園	4	① 右母指球切創 ② 薬の飲ませ忘れ ③ 右肘内障 ④ 左足捻挫
ビラあさやま	4	① 後頭部打撲 ② 薬の飲ませ忘れ ③ 薬の飲ませ忘れ ④ 左目尻打撲
ビラたかやま	5	① 後頭部、左臀部打撲 ② 右肩骨折、右大腿部頸部骨折 ③ 右下肢コンパートメント症候群疑い ④ 尿道裂傷 ⑤ 左額打撲、皮下血種

車両事故内容

事業所名	件数	内容
ビラおおだ デイサービスセンター	1	① カーブが続く道路で対向車が内回り走行しミラーが接触
相愛保育園	1	① スマートフォンのナビを確認しながら運転し、側溝に助手席側前後が脱輪

ビラあさやま	3	① 利用者宅に駐車する際ブレーキとアクセルを踏み間違え石垣及び家に衝突 ② 利用者宅にて方向転換する際、左後ろがフェンスに接触 ③ 敷地内で送迎準備をしていた際、アクセルとブレーキを踏み間違え公用車に衝突
ビラたかやま	1	① 雪道でスリップし、左前輪を縁石に乗り上げ

苦情内容・件数

事業所名	件数	内容
ビラおおだ デイサービスセンター	1	職員の対応について

ボランティア受入れ件数(延べ)

事業所名	ケアハウス ビラおおだ	ビラおおだ デイサービス センター	ビラおおだ 居宅介護支 援事業所	福寿園	福 寿 園 ヘルパー ステーシ ョン	相愛 保育園	ビラ あさやま	ビラ たかやま	合計
余興、作業 手芸、食育等	12	2	0	0	0	31	19	1	65

施設サービス(入所者状況)

事業所名	ケアハウスビラおおだ	福寿園
入所者数	月平均 50 名	月平均 50 名
男性	9 名	18 名
女性	41 名	32 名
平均年齢	90.1 歳	81.6 歳

通所介護サービス(利用者状況)

事業所名	ビラおおだデイ サービスセンター	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1 日平均利用人数	45.18 名	28.3 名	10.3 名	36.5 名

訪問サービス(利用者状況)

事業所名	福寿園ヘルパー ステーション	ビラおおだ居宅介護支援事業所
月平均利用人数	介護 655 件、予防 22 名 障がい 24.6 件	介護 163 件 予防支援 4.2 件、予防ケア 2.1 件

保育サービス(園児状況)

年齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
月平均園児数	13 名	20 名	19.1 名	22.5 名	24.9 名	26 名	125.5 名

1. 理事会の開催状況

第 165 回理事会

月 日 令和 5 年 6 月 12 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 4 年度事業報告について
(2) 令和 4 年度資金収支決算について
(3) 役員候補者の選任について
(4) 評議員選任・解任委員の選任について
(5) 第 64 回評議員会（定時評議員会）招集の決定について

第 166 回理事会

月 日 令和 5 年 6 月 27 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
議 題 (1) 理事長及び常務理事の選定について

第 167 回理事会

月 日 令和 5 年 11 月 17 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
議 題 (1) 令和 5 年度資金収支補正予算について
(2) 基本財産の処分について
(3) 事業所の名称変更について
(4) 福寿園管理規則の一部を改正する規則の制定について
(5) 組織規則の一部を改正する規則の制定について
(6) 経理規則の一部を改正する規則の制定について
(7) 文書取扱規則の一部を改正する規則の制定について
(8) 公印規則の一部を改正する規則の制定について
(9) 評議員選任・解任委員会招集の決定について
(10) 評議員候補者の推薦決定について
(11) 第 65 回評議員会招集の決定について

第 168 回理事会

月 日 令和 5 年 12 月 28 日
場 所 養護老人ホーム福寿園事務室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名
議 題 (1) 養護老人ホーム福寿園改築工事請負変更契約の承認について

第 169 回理事会

月 日 令和 6 年 3 月 18 日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 理事 6 名 監事 2 名 本部 2 名 施設長 5 名

- 議 題 (1)令和5年度資金収支補正予算について
(2)令和6年度事業計画について
(3)令和6年度資金収支予算について
(4)第66回評議員会招集の決定について
(5)事務局長の選任について

2. 評議員会の開催状況

第64回評議員会(定時評議員会)

- 月 日 令和5年6月27日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員5名 理事長 監事2名 本部3名 施設長6名
議 題 (1)令和4年度事業報告について
(2)令和4年度資金収支決算について
(3)理事及び監事の選任について

第65回評議員会

- 月 日 令和5年11月28日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員6名 理事長 本部3名 施設長6名
議 題 (1)令和5年度資金収支補正予算について
(2)基本財産の処分について

第66回評議員会

- 月 日 令和6年3月26日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 評議員7名 理事長 本部3名 施設長6名
議 題 (1)令和5年度資金収支補正予算について
(2)令和6年度事業計画について
(3)令和6年度資金収支予算について

3. 令和5年度監査

- 月 日 令和6年5月28日
場 所 ケアハウスビラおおだ会議室
出席者 監事2名 理事長 本部3名 施設長4名
議 題 (1)令和5年度事業報告について
(2)令和5年度資金収支決算について
(3)福寿園預り金管理状況

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議◎4/10 福寿園改築工事会議 ◎4/13、14、26 第三者委員報告会◎4/21	10	施設長会議◎10/27 中間ヒアリング◎事業所毎に実施 福寿園改築工事会議 ◎10/5、10、26

5	施設長会議◎5/26 福寿園改築工事会議◎5/11、24	11	施設長会議◎11/28 福寿園改築工事会議◎11/2
6	施設長会議◎6/27 福寿園改築工事会議◎6/8、14	12	施設長会議◎12/26 福寿園改築工事会議◎12/4、19
7	施設長会議◎7/31 福寿園改築工事会議◎7/6、13	1	施設長会議◎1/29 内部経理監査◎1/29
8	施設長会議◎8/28 福寿園改築工事会議◎8/2、10、31	2	施設長会議◎2/26
9	施設長会議◎9/28 福寿園改築工事会議◎9/7、28	3	施設長会議◎3/26

研修

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	新人職員研修◎4/3	8	メンタルヘルス研修会 (管理者向け)◎8/2
6	新人職員研修◎6/2 リーダー職員研修◎6/2 人権同和問題研修会 ◎DVDにて各事業所で実施	9	交通安全研修◎9/14
		11	メンタルヘルス研修会◎11/1 (ストレスチェック実施者)
7	中堅職員研修◎各事業所で実施	3	リフレッシュ研修◎3/14 実践研究発表会◎3/6

法人役員等研修

人権同和問題研修◎4/17	指導監査説明会◎7/11	苦情解決研修◎10/24
---------------	--------------	--------------

事業所外研修

高齢者虐待防止研修（WEB研修）◎12/7
その他専門知識等研修◎WEB、YouTubeにて都度実施

法人内部研修

法人内部講師研修◎6/2 認知症サポーター養成研修

事業所内研修◎各事業所内研修計画に基づき実施

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

人材育成・確保	リーダー的職員を中心に現状、課題に向き合い、課題に対してはスピーディーな解決に向け取り組む。キャリアパスに基づき、職制、役割を把握し、PDCAサイクルを活用してOJT(日常業務を通じた職員教育)を用いて相互のスキルアップを図る。電子化を進め、常に業務の効率化を意識し、誰もが同じ方向を向いて取り組む事で働きやすい職場環境を推進する。 <u>◎リーダー的職員が中心になり、事業所の現状と課題について整理し取り組んだが、2名の離職者が発生し、職員定着に繋がらなかった。全職員で業務の効率化を意識して、事故報告書や所長決裁などの文書を電子化し、ペーパーレスにも繋がった。また入居者の朝の検温、配膳方法の改善等で職員の業務時間を改善し、課題解決に繋がった。</u>
事業展開、サービス提供	事故対策委員を中心に接遇、事故防止対策委員会を毎月開催し、安心安全な施設づくりを行う。新型コロナウイルス等感染症流行で学んだ事を活かし、少人数での活動や入居者一人ひとりと密接な関わりが出来る方法を工夫しながら、取り組んでいく。 <u>◎毎月の職員会議で事故防止について話し合いながら、事故に対して当事者意識を持ち、他の事業所で起きたことも自事業所に置き換えて取り組んだ。少人数での活動や入居者の声を活動に反映し、計画的に取り組んでいたが、7、8月と新型コロナウイルスのクラスター発生があり、活動を見合わせる形となった。後期はしまね花の郷、相愛保育園交流等へ出かけて楽しめる活動を再開できた。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	「食」「健康管理」「地域貢献」の取り組みを継続し、全職種協働の健康教室を実施し、「食」と「健康管理」を更に結びつけ、入居者自身が健康意識を持ち、長く過ごして頂けるように生活の支援を行う。タブレットやホームページを活用し、身元保証人や関係機関に分かりやすくタイムリーな情報発信を行い、満足度アップに繋げる。引き続き、地域から信頼される施設づくりに向け、地域貢献を継続していく。 <u>◎入居者の心と体の健康づくりに向け、自ら健康意識を持って頂けるよう健康教室の開催や体操等に変化を加える事で参加者が増えた。敬老会ではタブレットを活用し、身元保証人、家族にご協力頂き、メッセージ動画を上映し入居者に喜んで頂く事が出来た。地域貢献では料理教室の講師として職員を派遣し地域ニーズの一旦を担う事に繋がった。また食の楽しみ、活動の充実により、心身共に健康な生活を目指し、全職員で協力して満足度向上に繋がった。</u>
その他	経年により建物の修繕リスクも高くなる中、日々の建物管理を行い、建物維持・管理を行う。幅広い地域の方にケアハウスを知ってもらう機会を作り、年間入居率100%を維持継続する。 <u>◎経年により修繕のリスクも高くなってきており、日々の点検や清掃に十分注視し行った。修繕が必要な場所は相談しながら進めることが出来た。PRはホームページでの発信は勿論、作品を金融機関や図書館に展示させて頂く事で幅広いPRに繋がり、地元住民の口コミや医療機関との連携により入居申込みも増え、確実な待機者が確保できた。</u>

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区自主防災会合同防災連絡会議 ◎4/27 ガーデンランチ◎4/13	10	秋の行楽遠足◎10/20 秋の野外食◎10/12
5	日中火災避難消火訓練◎5/25	11	川合町文化祭出展、参加◎11/11、12 ケアハウス文化展◎11/15～26 パン教室◎11/29 野外散策◎11/6 感染症予防勉強会◎11/26 紅葉見物（銀杏のライトアップ）◎ 11/28 鬼岩交流◎11/9
6	ケアハウスピラおおだ合同通信発刊 ◎6/29 野外散策◎6/22 食中毒・疾病予防勉強会◎6/26	12	忘年会（フルコース）◎12/15
7	入居者懇談会◎7/6、7	1	新年挨拶会 初詣（物部神社） ◎1/1 新春ゲーム大会◎1/4 かるた会（相愛保育園との交流）◎ 1/17
8	夏祭り◎8/23 夜間火災訓練及び合同防災連絡会議 （出岡地区自主防災会と合同）◎8/23	2	節分祭参拝（物部神社）◎2/3
9	9,1 防災の日◎9/1 敬老会◎9/15	3	大田市福祉展への出展、見学 ◎3/2、3
その他	健康教室◎6/26、10/6 世界の料理の日◎毎月 メイン食の日◎適宜 収穫祭◎ 10/14 小レクリエーション◎4/21 ミニ外出支援◎4/27、5/17、23、10/26、27、3/21 買い物外出支援◎毎月 クラブ活動◎毎月 法話会◎毎月 炭火焼き◎適宜 餅つ き◎12/26 そば打ち◎12/13 誕生祝い◎毎月 お楽しみお茶会◎適宜 ふれあい食堂出前◎適宜 ふれあい食堂民生児童委員との連絡会議◎1/26 非常食 づくり◎9/1、10/11、1/29 出岡サロン◎毎月		

3. 福寿園（養護老人ホーム）

人材育成・確保	リーダー的職員は自ら率先して動き、スキルアップや職員への指導力、手本となることでチーム力を高め、施設全体をレベルアップする。また紙ベースから電子化への移行を積極的に行い、業務の効率化を図ると共に、職員間のコミュニケーションを大切にし、より働きやすい職場環境づくりに取り組む。 ◎0JT（日常業務を通じた職員教育）や研修を通じて、円滑にコミュニケーションを取りながらチーム一体となって業務に取り組み、人材育成を進めた。業務の効率化の意識を持ち、本部職員と相談しながらタブレットを導入し、電子化へと繋げた。
---------	---

	◎福寿園ヘルパーステーションと合同で主任会議を開催し意見交換を行った。良いところは継続し、検討するところは全職員で話し合いをし、より良い施設づくりに取組んだ。
事業展開、サービス提供	安心安全な生活を送れるよう介護保険利用者に対して介護支援専門員と介護保険サービス事業所と密な連携を図る。また新型コロナウイルス等感染症の予防対策として館内、居室等の消毒を徹底し、感染の疑いのある入園者に対しては初動対応を迅速に行い感染の拡大を防止する。 ◎職員会議時に入園者の身体や生活の状況を確認し介護支援専門員へ連絡、相談を行い、必要なサービス内容の変更を行い、安定した生活に繋がった。また感染症対策として日頃から館内や居室の消毒を徹底するとともに、風邪症状のある入園者に対しては速やかに嘱託医に相談し、対応したことでクラスターを未然に防いだ。 ◎新園舎以降、体調不良者については感染症対策の初動対応として居室内隔離をするなどの措置をし、感染の拡大を防いだ。
事業の特色、魅力あるプログラム	「楽しみある食」をテーマに、四季折々の食事を提供し現園舎での思い出を作る。 閉じこもり予防の一環として外出の機会や屋外で食事を楽しむ企画を増やし、その他軽作業など趣味活動の場を積極的に提供しメリハリをつけながら施設で生活を送れるよう支援する。ホームページを活用し食事や行事等をPRしながら地域社会に開かれた事業所づくりを行う。 ◎春を楽しむ会等季節にちなんだ行事を実施し、食を通じて季節の移り変わりを感じてもらいながら、楽しみのある食を提供した。また毎月のバイキング食や選択食では、食事制限のある入園者の方にも安全面、栄養面でも満足して頂けるように多職種で相談し食材や提供方法を工夫した。 ◎お弁当を持参しての外出支援の機会を増やし、趣味活動を積極的に行い、楽しみを持った生活を送って頂いた。また、日々の生活状況や行事等の様子を毎日ホームページで伝え、身元引受人、関係機関等へ情報発信した。
その他	新園舎の移転に向けて備品整理と、移転後の入園者の生活全般に関する事や行事、活動等について検討する。また訪問介護事業所を併設し、よりスケールメリットを活かした事業が実施できるよう準備する。 ◎新園舎移転に向けて改築工事会議を開催し、本部と進捗状況の報告、確認を行い、連携を取りながら法人内職員の協力を得て、新園舎への移転ができた。訪問介護事業所と併設のメリットを活かしたサービスを展開した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	外出支援(三瓶 弁当持参)◎4/13 春を楽しむ会(園庭で食事会)◎4/5 園芸活動◎4/16	10	地域交流(福寿園舎お別れ会)◎10/16 外出支援(衣類買物)◎10/14
5	外出支援(新緑観賞 弁当持参)◎5/17	11	秋を楽しむ会(芋掘り・芋煮会)◎11/6
6	土砂災害訓練◎6/26 外出支援(ポピー 弁当持参)◎6/13	12	クリスマスお茶会◎12/20 クリスマス献立◎12/25 餅つき◎12/28

7	福ふく広報発行◎7/4 外出支援（衣類買物）◎7/18 福寿園川合町ふれあいの会◎7/24	1	新年お茶会◎1/31
8	相愛保育園との交流◎8/17 夏を楽しむ会（夏祭り）◎8/27 夜間火災避難消火訓練◎8/28	2	冬を楽しむ会（節分会、巻きずし作り）◎2/5
9	長寿を祝う会◎9/14 敬老週間お出かけ（サヒメル）◎9/15	3	ひな祭りお茶会◎3/2 日中火災避難消火訓練◎3/11 大田市福祉展への出展、見学◎3/3
その他	お楽しみクラブ◎適宜 買い物代行◎適宜 農作業活動◎随時 誕生会◎月1回 お茶会◎月1回 選択食◎月1回 バイキング◎月1回 クッキング◎月1回 法話会◎4/27、5/25、6/22、7/27、8/24 非常食づくり◎10/11、1/30 収穫祭◎11/6		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 295日（日曜日、祝日及び1月1日～1月3日まで休園）

サービス提供時間 7：00～19：30

人材育成・確保	主任を中心に保育園の現状について日頃から情報を共有し、課題の解決や改善に積極的に取り組む。また園内外の研修に参加し、保育の質や職員のコミュニケーション能力を向上させる。業務の効率化や人材確保を積極的に行い、働きやすい職場環境を整える。 ◎保育園の現状についてミーティング等で情報や課題を把握、共有し、主任を中心にその課題の解決や改善に取り組んだ。園内外の研修や他園の公開保育で得た知識や情報を基に、保育の質や職員のコミュニケーション能力を向上させた。保育システムを活用し、園児の個別経過記録や日々の連絡ノートの記入、出欠確認、日誌のデータ保存等、業務の省力化を図った。また、ボランティアや保育実習生を積極的に受け入れ、人材確保に繋げることができた。
事業展開、サービス提供	新型コロナウイルス等の感染症予防に努めると共に、職員の危機管理意識を高め、安心安全な保育を提供する。 ◎園内で感染症の発症が確認された時は、職員及び保護者に速やかに情報提供すると共に、園内の消毒を強化する等し、感染拡大を防止した。またニュース等で取り上げられている不適切保育について、ミーティング等で注意喚起を行った。重大事故に繋がる薬の飲ませ忘れがあった為、再度全職員に薬の扱いについて周知し、職員一人ひとりが改めて危機管理意識を強く持ち、安心安全な保育を提供した。
事業の特色、魅力あるプログラム	園児が大田市の歴史や文化、自然に積極的に触れるなど「ふるさと教育」に重点を置く。地域との関わりの中で、生活に必要な挨拶やルール・マナーを身につけ、心地よく過ごす喜びを体験することで郷土愛を育てる。併せて散

	歩や体操教室、芸術体験などを継続して行い、園児の健康な身体と心を育む。また園児・保護者に食事が体に及ぼす影響などを分かりやすく伝えたり、デリバリー給食や地産地消ビュッフェを行う等、身近な食材や食事への興味・関心を高める。この他、園児の言語発達を促すことで表現を豊かにし、情緒の安定を図る。 ◎園児が散歩や遠足、神楽面づくり体験、鬼岩見学等を通じて、大田市の歴史や文化、自然に触れた。年長児が「おおだ だいすき かるた」を作成することで、子どもたち一人ひとりが自分の住んでいる大田市の大好きなところを見つけ、絵や言葉にすることができた。その取り組みについて、11月開催のしまね自然子育てフォーラムで地域の魅力を発見する保育の一例として、また1月開催のおおだ教育フェスタで大田市の学力育成に関わる取り組みの一例として紹介された。また職員が積極的に子どもたちの手本となり、生活の中で必要な挨拶やマナーなどを身につけられるようにした。食育では、食物をキャラクター化した絵本を作り、食事や食材と体の関係について、園児や保護者に分かりやすく伝えた。言語研修や5歳児、3歳児の発話調査の結果を踏まえ、職員が園児への日頃の言葉掛けを意識し言語発達を促したことで、子どもたちの語彙が豊かになったり、発話の仕方や絵の描き方に成長が見られた。
その他	日々の気づきを基に環境構成や備品整備を行い、園児が安心安全で快適に過ごせるようにする。 ◎園児の成長や発達に応じた環境の構成や備品整備をこまめに行い、園児が安心安全で快適に過ごせるようにした。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	入園・進級式◎4/1	10	親子運動会◎10/14 園外保育◎10/19 箱寿司づくり（食育ボランティアとの交流）◎10/17 ハロウィンパレード（地域交流）◎10/31
5	親子遠足◎5/19 交通安全教室◎5/30	11	作品展◎11/6～18、11/27～12/9 保護者研修会◎11/11 炊き出し訓練◎11/16 かまぼこ工場見学◎11/2
6	個人懇談◎6/12～23 虫歯予防集会◎6/28 保護者研修会◎6/10	12	もちつき会◎12/19 クリスマス会◎12/22
7	幼児組保育参観◎7/1 七夕・プール開き集会◎7/7 夏祭り◎7/22 園児歯科健診◎7/19	1	親子茶会◎1/20 個人懇談◎1/20 かるた会（ケアハウスとの交流）◎1/17

8	プール納め◎8/28、30、31 小学生との交流◎8/19 施設交流（福寿園◎8/17	2	節分会◎2/2 雪あそび◎2/16 お楽しみ会◎2/3 なかよし茶会◎2/14
9	施設交流（ピラおおだデイ）◎9/11、 12、14 園児健康診断◎9/28	3	ひな祭り会◎3/4 おわかれ会◎3/13 なかよし遠足◎3/8 パン作り◎3/6 新入園児・継続児健康診断◎2/29、3/1 卒園式◎3/23
月 例 行 事	誕生会◎月1回 身体測定◎月1回 避難訓練◎月1回 元気モリモリの日（体操教室：年長児）◎4/18、25、5/22、23、6/6、27、7/11、 25、8/3、10/26、11/7、14、12/12、1/22、30、2/20、3/5、19 お茶のお稽古（年長児）◎5/31、6/21、9/27、10/18、11/22、12/19、1/20、2/14 習字（年長児）◎4/20、6/2、26、7/26、8/4、9/22、10/24、11/29、12/20、2/21、 3/5		
そ の 他	法人内高齢者施設との交流会◎6/13、15、8/17、9/11、12、14、11/9、1/17 1日保育士体験（各クラス）◎7/6、26、8/4、24、9/22、29、10/16、17、19、20、24、 25、26、30、11/7、10、13、14、16、17、20、21、27、28、12/1、5、8、12、14、3/6 環境整備（春、秋）◎5/28、7/14、10/22 すまいるくらぶ（地域交流会）◎6/16、10/24 お弁当ごっこ◎5/12、11/16、12/8、1/12、2/16、3/4 防犯訓練◎7/24、12/21 地産地消ビュッフェ◎5/18、8/17、11/14、1/18 デリバリー給食◎5/12 自然体験◎5/30、9/29、12/20 クッキング（夏季を除く）◎10/17、11/9、16、20、2/2、16、3/4、6		

通所介護サービス

5. ピラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 306日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）コロナ感染症の為4日間休業

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成・確保	リーダー的職員と中堅職員が中心となり、現任職員への指導助言を行う事でリーダー力を高める。また研修で得られたことは「まずやってみる」を基本とし、そのためにはどうするかを全職員で考え実践することでスキルアップを図る。 ◎中堅職員が中心となり、現任職員への発信や指導助言を行い、リーダー的職員がその補助や中堅職員への振り返りをし、リーダー力向上に取り組んだ。また、目標達成に向けてリーダー的職員と中堅職員がより連携し、進捗状況を確認し合いながら一緒に取り組んだ。
事業展開、サービス提供	事務作業の見直しで業務の省力化につなげ、利用者との関わりに時間を充てることで、より魅力のあるプログラムを作り定着を図る。また、介護支援専門員と密な連携を図り利用者にとっての最善策を考え、満足感を高め

	ることで新規利用者の獲得につなげる。また新型コロナウイルス等感染症対策に留意し、感染が最小限になるように活動内容や方法を工夫し、事業を展開する。 ◎タブレットを担当者会議で活用し、書類の作成を効率良く進めた。介護支援専門員に対して細やかな情報共有を行い、新規利用の臨機応変な受け入れを行った。また、新型コロナウイルス等の感染症対策を実施したが、8月に利用者のコロナ感染が広がり、4日間休業した。
事業の特色、魅力あるプログラム	興味関心チェックシート等を活用し「やってみたい」を叶え、更に楽しみを持って通っていただく。また機能訓練では身体機能面や生活面、認知面等様々な角度からアプローチし、より細やかな対応を行いながら在宅での生活を支える。 ◎利用者のつぶやきの中から「やってみたい」を抽出し、「海に行きたい」「紅葉がみたい」等が多く挙げられた。毎月の職員会議で取り組み方や実施方法を検討し計画的に行った。訓練内容については、定期的に理学療法士と作業療法士で相談し、その方に必要なリハビリを実施した。また、生活面や認知面へのアプローチが必要な場合には多職種で連携し、小グループ活動や調理・家事動作等の活動も提供した。機能訓練として身体面・生活面へのアプローチと必要に応じて認知機能評価を実施し、活動内容に反映した。
その他	日々の点検や備品管理を行い、建物の維持管理を行う。地域貢献の一つとして、地域の通いの場へ職員派遣するなどの取組みを継続する。 ◎日々の点検と早めの修理を行い、建物の維持管理を徹底した。 川合町通いの場や池田すこやかクラブへの訪問を継続し、スタッフや利用者と馴染みの関係性が利用に繋がった。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	お花見月間◎4/5、6、7	10	避難訓練◎10/20 家族交流会◎10/3、11
5	火災避難消火訓練(ケアハウス合同)◎5/25 家族交流会◎5/12	11	川合町文化祭出展、参加◎11/11
6	食中毒予防教室◎6/20、21、23 家族交流会◎6/19	12	忘年会◎12/20、21、22 脱水症予防勉強会◎12/11、14、16
7	夏祭り◎7/11、12、14	1	新年会◎1/8、9
8	パン教室◎8/1	2	節分祭◎2/3 パン教室◎2/29
9	敬老週間(イベント入浴)◎9/11~9/15 相愛保育園との交流◎9/11、12	3	大田市福祉展への出展、見学◎3/2 相愛保育園との交流◎3/5 ひな祭り◎3/2

その他	保育園交流会（川合保育園◎9/27、あゆみ保育園◎9/15）、喫茶◎月1回、クッキング◎月1回、屋外訓練◎月1回、誕生会◎随時
-----	---

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 310日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成・確保	事業所の目標、課題、チーム力向上の為、リーダー的職員は「知識」「技術」「実践力」を身につけ、個々の職員の価値観、キャリア、経験等に応じた指導、助言を行い、専門性の高いサービス提供を行う。チームコミュニケーションを積極的に行い互いにサポートしながら、現状の問題点等の見える化を行い、検討、実行し、業務の効率化、働きやすい環境づくりを行う。 ◎リーダー的職員は目標、課題、チーム力向上の為、自分の役割を理解し、専門的知識、技術を身につけ、個々の目標達成に向けて、一人ひとりの能力が発揮出来るように指導、助言を行った。また職員間で意識して声を掛け合い、色々な提案をしながら小さなことでも業務の見直しを行い、働きやすい環境づくりに取り組んだ。
事業展開、サービス提供	各種防災、新型コロナウイルス感染症等の対策を強化、また事故防止の為、ヒヤリハット、気づきを活用し、予防的対応策を検討、実践する。ご利用者、ご家族の意見を聞き取り、利用者の力を活かせる支援を行う。 ◎各種防災、感染症等の予防や対策を実施しながら業務に取り組んだ。事故防止の為に細かな気づきの発信、ヒヤリハット対策を行い、職員間で共有し、職員会議、ミーティングにおいて振り返りを実施した。また日々の利用者、家族との関わりの中で、意見や要望を聞き取り職員間で共有し日々の支援に取り入れた。
事業の特色、魅力あるプログラム	リハビリルームを活用し、自宅での生活に即した具体性のあるリハビリの実施、リハビリ内容の検討を繰り返し行い、充実したものにする。また、通所介護利用の場面において、リハビリに繋がる支援を実践する。 ◎アセスメント、興味・関心チェックシートや日々のやり取りの中から積極的に外出機会を増やし、利用者の満足度を高めるとともに、自宅での生活に沿ったリハビリプログラムを立案し、実践した。毎月、リハビリ会議を開催し、個々のリハビリ内容や実践後の変化、効果について検討し、介護職員も会議に参加することで、介護の視点からの意見を発信し、自宅での生活、利用中の支援方法に繋げた。検討し、実施した結果について、利用者、家族、各関係機関に情報発信した。

その他	日頃より、建物、設備、備品の点検を行い、計画的な修繕、購入をする。 ◎日頃より、些細な異変についても報告し、再点検や修理、対応をするようにし、濾材交換、浄化槽、床暖房機器、消火ポンプの修繕を実施した。 また、24 時間テレビ福祉車両寄贈の申込を行い、贈呈を受けた。
-----	---

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見・ドライブ) ◎4/13 交通安全教室◎4/27 ボランティア(フラダンス) ◎4/26 屋外食◎4/12、28 伝習館(多肉植物) ◎4/15、17	10	屋外食(ピクニック) ◎10/12 ボランティア(歌) ◎10/11 お茶会◎10/19、25 土砂災害避難訓練◎10/20
5	屋外訓練(ローズガーデン) ◎5/22 屋外訓練(おやつ持ちドライブ) ◎5/12 体力測定◎5/22～27 屋外訓練(イワミ村田) ◎5/2 野外食(ピクニック) ◎5/11 野外食(かまどご飯) ◎5/25 火災避難消火訓練◎5/26 ボランティア(手芸) ◎5/23 ボランティア(田原歌謡) ◎5/8	11	あけぼのこども園交流◎11/14 朝山町文化祭出展、参加◎11/15 富山町文化祭出展、参加◎11/13、16 屋外訓練◎11/21 体力測定◎11/20～25 絵手紙教室◎11/29 お茶会◎11/25 ボランティア(劇) ◎11/15 ボランティア(看護師) ◎11/1
6	相愛保育園交流会◎6/13 日常生活動作訓練◎6/19～21 陶芸教室◎6/12 ひばりの会交流(富山通いの場) ◎6/22 屋外訓練(あじさい) ◎6/22	12	クリスマス会◎12/25 お茶会◎12/5 リハビリルーム見学会◎12/7 そば道場◎12/20 忘年会◎12/11～12 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/26 伝習館しめ縄作り◎12/8 餅つき◎12/27 感染症予防教室◎12/5
7	七夕◎7/7 家族介護教室◎7/5 食中毒予防・熱中症予防教室 ◎7/12～13 ボランティア(看護師) ◎7/21 ボランティア(手芸) ◎7/19	1	初詣◎1/16、19 お茶会◎1/26 新年会◎1/4 ボランティア(落語) ◎1/17
8	地域・家族交流会◎8/10 夏祭り◎8/10、19	2	節分会◎2/2 お茶会◎2/21 あさやま通いの場交流(そらみず) ◎2/14 ボランティア(手芸) ◎2/16 屋外訓練(多伎伝習館) ◎2/10、23、24、26 食育教室(和菓子作り) ◎2/19 屋外訓練(ドライブ) ◎2/9、13、17

9	敬老会◎9/20～21 伝習館（書道展）◎9/18 食育教室◎9/15	3	火災避難消化訓練◎3/6 ひなまつり会◎3/1 お茶会◎3/6 ボランティア（大正琴）◎3/25 ボランティア（竹細工）◎3/26 屋外食（燻製）◎3/13 屋外訓練（仁摩）◎3/11、15 屋外訓練（多伎伝習館）◎3/16 朝山まちづくりセンター訪問 （ポッチャ）◎3/19 お茶会◎3/15
その他	手芸クラブ◎適宜、喫茶◎月1回、園芸活動◎適宜、奉仕活動◎6/4、クッキング◎ 適宜、手芸◎適宜		

ピラあさやま認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日 310日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成・確保	事業所の目標、課題、チーム力向上の為、リーダー的職員は「知識」「技術」「実践力」を身につけ、個々の職員の価値観、キャリア、経験等に応じた指導、助言を行い、専門性の高いサービス提供を行う。チームコミュニケーションを積極的に行い互いにサポートしながら、現状の問題点等の見える化を行い、検討、実行し、業務の効率化、働きやすい環境づくりを行う。 <u>◎リーダー的職員は目標、課題、チーム力向上の為、自分の役割を理解し、専門的知識、技術を身につけ、個々の目標達成に向けて、一人ひとりの能力が発揮出来るように指導、助言を行った。また職員間で意識して声を掛け合い、色々な提案をしながら小さなことでも業務の見直しを行い、働きやすい環境づくりに取り組んだ。</u>
事業展開、サービス提供	各種防災、新型コロナウイルス感染症等の対策を強化、また事故防止の為、ヒヤリハット、気づきを活用し、予防的対応策を検討、実践する。やる気を引き出す支援、個別性を重視し、心地よい空間のもと落ち着いた気持ちで過ごせるように支援を行う。 <u>◎各種防災、感染症等の予防や対策を実施しながら業務に取り組んだ。事故防止の為に細かな気づきの発信、ヒヤリハット対策を行い、職員間で共有し、職員会議、ミーティングにおいて振り返りを実施した。また日々の利用者、家族との関わりの中で、意見や要望を聞き取り職員間で共有し日々の支援に取り入れた。小規模での対応を活かし、個別性を重んじた支援、本人の長所を活かしやる気を引き出す支援に取り組んだ。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	個々の利用者の認知症の症状に合わせた非薬物療法に取り組み、五感へのアプローチ支援を行い、活動量、脳の活性化を図り、身体機能、認知機能の維持をする支援をする。また、ご利用者一人ひとりの症状やその時の感情を

	汲み取り、本人の役割、出番を作り、専門医と連携し助言を受けながら支援を行う。 ◎認知機能検査や興味・関心チェックシートにて現在の認知症症状や昔やっていたこと、今やりたいことを把握し、チームで共有して、本人の視点に立って支援方法等を決定した。また、専門医への受診同行を行い、日頃の支援について助言を受け、医療と連携を図りながらケアを行った。日々の言動から利用者の様々な思いを汲み取り、病気への理解、本人の理解を深め、寄り添い信頼されるように支援を行った。
その他	日頃より、建物、設備、備品の点検を行い、計画的な修繕、購入を行う。 ◎日頃より些細な異変についても報告して再点検や修理、対応をするようにし、濾材交換、浄化槽、床暖房機器、消火ポンプの修繕を実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見・ドライブ) ◎4/13 交通安全教室◎4/27 認知機能検査◎4/10～15 ボランティア(フラダンス) ◎4/26 屋外食◎4/10、18 伝習館(多肉植物) ◎4/15	10	屋外食(ピクニック) ◎10/12 ボランティア(歌) ◎10/11 お茶会◎10/25 土砂災害避難訓練◎10/20
5	屋外訓練(ローズガーデン) ◎5/18、24 屋外訓練(おやつ持ちドライブ) ◎5/24 野外食(ピクニック) ◎5/11 野外食(かまどご飯) ◎5/24 火災避難消火訓練 ◎5/26 ボランティア(手芸) ◎5/23	11	あけぼのこども園交流◎11/14 朝山町文化祭出展、参加◎11/15 富山町文化祭出展、参加◎11/13、16 屋外訓練◎11/21 体力測定◎11/20、21、22、23、24、25 絵手紙教室◎11/29 お茶会◎11/25 ボランティア(劇) ◎11/15 ボランティア(看護師) ◎11/1
6	相愛保育園交流会◎6/13 屋外訓練(日常生活動作訓練) ◎6/19 陶芸教室◎6/12 屋外訓練(ドライブ) ◎6/22	12	クリスマス会◎12/25 お茶会◎12/5 リハビリルーム見学会◎12/7 そば道場◎12/20 忘年会◎12/11、12 フラワーアレンジメント(門松作り) ◎12/26 伝習館しめ縄作り◎12/8 餅つき◎12/27 感染症予防教室◎12/5
7	七夕◎7/7 家族介護教室◎7/5 食中毒予防・熱中症予防教室 ◎7/12～13 ボランティア(看護師) ◎7/21 ボランティア(手芸) ◎7/19	1	初詣◎1/16、19 お茶会◎1/26 新年会◎1/4 ボランティア(落語) ◎1/17

8	地域・家族交流会◎8/10 夏祭り◎8/10、19	2	節分会◎2/2 お茶会◎2/21 あさやま通いの場交流（そらみず）◎2/14 食育教室（和菓子作り）◎2/19 ボランティア（手芸）◎2/16 屋外訓練（多伎伝習館）◎2/10、23、24、 26 屋外訓練（ドライブ）◎2/9、13、17
9	敬老会◎9/20～21 伝習館（書道展）◎9/18 食育教室◎9/15	3	火災避難消火訓練◎3/6 ひなまつり会◎3/1 お茶会◎3/6 ボランティア（大正琴）◎3/25 ボランティア（竹細工）◎3/26 屋外食（燻製）◎3/13 屋外訓練（仁摩）◎3/11、15 屋外訓練（多伎伝習館）◎3/16 朝山まちづくりセンター訪問 （ポッチャ）◎3/19 お茶会◎3/15
その他	回想法◎月2回、学習◎適宜、音楽◎適宜、園芸◎適宜、作業療法◎適宜、アロマセラピー◎毎日 喫茶◎月1回、奉仕活動◎6/4、クッキング◎週1回、手芸◎適宜		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 306日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）コロナ感染症の為4日間休業

サービス提供時間 9：30～16：35

人材育成・確保	リーダー的職員を中心に事業所の課題解決に向け、事業所全体で迅速に取り組み、評価、見直しを繰り返しながら、常に改善させていく。また職員一人ひとりの考えを引き出し、それをどう行動へ移していくのか、リーダー的職員及び中堅職員が相談、助言を行いながら、次世代を担う職員の育成を行う。 ◎リーダー的職員及び中堅職員を中心に課題解決行動計画を基に、3ヶ月に1回評価を行い、業務の整理や改善、送迎時間の効率化等について継続的に見直しをしながら実施した。中堅職員研修など事業所内での研修や勉強会、職務に応じたOJT（日常業務を通じた職員教育）を職員一人ひとりの状況に合わせてながら取り組んだ。
事業展開、サービス提供	継続して新型コロナウイルス等感染症の予防対策を図る。また接遇、事故防止対策の定期的な見直しや気づきの振り返りを行いながらリスクに対する意識付けを行うと共に情報を共有し、より安心安全で気持ち良く過ごしていただく。

	◎新型コロナウイルス等感染症の予防対策を継続して行ったがコロナ感染により 4 日間休業した。アプリを活用した気付きの確認と朝のミーティングや会議時に振り返りを行い、リスク管理を行った。毎月の気づきの分析やマニュアルの整備により、事故防止に向けた対策を強化し、積極的に情報発信を行い、職員間で情報共有が図られるように、声かけを継続した。
事業の特色、魅力あるプログラム	「趣味活動」「機能訓練」「食事」を 3 つの柱として、利用者の「やってみたい」活動を積極的に取り入れ、楽しみながら、満足感のある活動を提供する。機能訓練では在宅との繋がりを意識し、利用者の生活目標に合わせた訓練を実施する。また、夕食弁当持ち帰りサービスを新たに導入し、特色である「食」をサービスとして定着させ、食事の支援と新規利用者の獲得を進める。 ◎趣味活動では、満足度調査の結果や聞き取りからカラオケや習字等個別の活動を継続し、満足感が得られるように取り組んだ。機能訓練では通所リハビリや訪問リハビリを利用している方はリハ会議への参加を通じて、内容等の情報共有を行うなど、リハビリ内容の見直しを行い実施した。夕食弁当持ち帰りサービスでは、利用者や家族に意見を聞きながら、実人数 17 名、延べ 888 食を提供し、在宅生活継続の支援を行った。また実施した内容について、ビラたかやまの特色を意識した記事をホームページで掲載し、PR を行った。
その他	管理の徹底により施設設備、備品の長寿命化を図るとともに、老朽化してきた公用車の買い替え、設備等の修繕を計画的に行う。 ◎施設設備の点検、備品（浴室・厨房の水栓）の交換、中央競馬馬主社会福祉財団、公益財団法人 JKA の補助金で公用車 2 台の買い換えを行った他、設備等の修繕を計画的に実施した。

年間行事

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練◎4/17～29	10	運動会◎10/10、11 体力測定◎10/21～27 屋外訓練◎10/16、18、19、20 水上保育園交流会◎10/30 感染予防教室◎10/31
5	屋外訓練◎5/11、12、15、16、17、18 ビラたかやま通信発刊◎5/27	11	祖式町文化祭出展、見学◎11/23 大森町文化祭出展◎11/12 屋外訓練◎11/6～8 火災避難消火訓練◎11/27
6	火災避難消火訓練◎6/9 屋外訓練◎6/20、21、22 熱中症・食中毒予防教室◎6/27、29、30 体力測定◎6/5～15	12	忘年会◎12/20、21、22 餅つき◎12/11 クリスマス会◎12/23
7	七夕◎7/7 夏祭り◎7/27～29	1	新年会◎1/4～6 お茶会◎1/8 屋外訓練◎1/9～13

8	リフレッシュ体操◎8/21、22、25	2	節分◎2/3
9	敬老月間◎9/13～15 お茶会◎9/13 土砂災害避難訓練◎9/21	3	ひな祭り◎2/26～3/2 屋外訓練◎ 3/18、22、26、27
その他	プチカフェ◎毎月、パンの日◎毎月、あつあつメニューの日◎毎月		

訪問サービス

8. 福寿園ヘルパーステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

人材育成・確保	職員個々に目標設定を行い、実施、評価、見直しを繰り返し更なる介護技術の向上を目指しながら、利用者及び家族の思いに添えるサービスを提供する。 タブレット等を活用し改善意識を持ちながら業務の効率化を図り、より働きやすい職場環境にする。 ◎職員個々の研修計画を作成し、目標達成に向け、毎月評価を行い、理解が難しいことや不安に思うことは助言、指導を行い、介護技術の向上を図った。また、タブレット活用により事務の効率化ができた。
事業展開、サービス提供	質の高いサービスを行うため情報共有を密にチーム一体となり取組み、在宅生活を支える。リスクマネジメントについて、事故防止対策委員が中心となり日頃からヒヤリハットや気づきを基に事故防止を行うと共に、新型コロナウイルス等感染症の予防対策を行い、都度検討しながら安心安全な事業を実施する。 ◎訪問看護等の多職種との連携を密に図り、本人の希望に沿った看取りを行った。 ◎感染症対策として、訪問時のマスク、アイガード等の着用、職員が感染して休んでも可能な限り対応できるよう調整を行った。 ◎事故が起きないようにヒヤリハットや気づきの対策をたて、職員間で共有し事故の再発を防止した。また、他事業所での気づきについても検討し未然に事故を防止した。
事業の特色、魅力あるプログラム	利用者、家族、事業所間とのコミュニケーションを重視し、安心と信頼を得られるようにする。また、重度要介護者に対応する質の高い技術力、小さな気づきと観察力、細やかな報告ができる強みを活かし、新規利用者を獲得し安定した経営につなげる。 ◎本人の意思を尊重し、家族や各事業所との密な情報共有、細やかな気遣いや質の高い技術を持っている強みを活かし、新規利用に繋げた。またホームページに分かりやすく掲載し情報発信ができた。
その他	福寿園移転に伴う事業所移行について、職員体制、サービス提供の在り方について検討し、移転後スムーズな事業が行えるよう準備する。 ◎入園者の状態、状況によって対応が難しくなった場合は福寿園職員と

	<u>連携し情報共有をタイムリーに行い、サービス内容を変更した。また特別養護老人ホーム入所待ちの入園者についても密に連携し検討、対応を継続した。</u>
--	--

9. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

人材育成・確保	目標管理制度に基づき相談援助の専門職としてのスキルアップに努めると共に、組織の一員としての自己覚知を促しキャリアパスに応じた人材の育成、事業所全体での資質向上を目指し、目標達成に向けて取り組む。 <u>◎新任の介護支援専門員が加わり、基礎的なケアマネジメントの再確認と新任への指導助言を通じて中堅職員のスキルアップを図った。計画に従って事例検討会の実施や各種研修会へ参加し、復命にて事業所全体で学びを深めた。互いの目標達成状況、業務の進捗状況を確認し、協力し合うことで帰属意識を高め、事業所全体の目標達成・資質向上に繋がった。</u>
事業展開、サービス提供	新型コロナウイルス等感染症の動向に注意を払い、状況に応じた対策を講じながら相談援助業務を実施する。 在宅介護に困っている中重度者や支援困難ケース等を積極的に受け入れ支えていく。また地域包括支援センター等関係機関との連携を密に図り、特定事業所としての機能を果たす。 これらの取り組みをホームページ等で伝え親しみやすさや高い専門性の周知を図り、地域から選ばれる事業所を目指す。 <u>◎新型コロナウイルス感染症は第5類移行後も感染症予防対策を継続して行い、業務に影響が出ないよう努めた。</u> <u>◎関係機関との連携を図り、特に医療依存度の高いケース、ターミナル期等でも安心して在宅介護が続けられるよう配慮した。</u> <u>◎ホームページにて日々の業務や取り組み、各職員が研鑽を積んでいる様子を定期的に発信し、居宅介護支援事業所の業務内容や特徴を伝えた。</u>
事業の特色、魅力あるプログラム	主任介護支援専門員が複数在籍している強みを活かし、これまでの経験や実績、培ってきた人脈を活用しながら多角的な視点でケアマネジメントを実施する。利用者個々に寄り添いながら安心して住み慣れた地域で在宅生活が続けられるよう支援する。 利用者やサービス事業所に対し満足度調査を実施し、ニーズに応じた業務改善を行うことで更なる高品質なサービスを提供する。 <u>◎主任介護支援専門員が3名、経験2年未満の介護支援専門員が2名の職員構成となり、日々の業務を通じて先輩職員がこれまで培ってきたノウハウや人脈・各種社会資源等を経験の浅い職員へ伝達、指導助言を行い、自信を持ってケアマネジメントが行えるようフォローした。また担当ケースをひとりで抱え込まないよう毎週のケース検討会で情報共有し、利用者個々の状態に応じた適切な支援を行った。</u>

	◎6 月に利用者に対して接遇アンケートを実施し、12 月に利用者・事業所に対して満足度調査を実施し満足度の高い評価が得られた。
その他	令和 6 年度の診療報酬・介護報酬同時改定関連の情報を収集し、先を見越した事業の推進を行う。 ◎報酬改定関連の今後の動向について情報収集を行い、適時発信した。